

(10) 中学校技術家庭科部会

会長 橋田 年弘 (県立中村中)
副会長 石崎 桂 (西土佐中)
事務局 田村 悟 (中村西中)

1. 研究主題「実践的な姿勢を持ち、主体的・対話的に学べる生徒の育成」

2. 研究経過

実施年月日	研究のあらまし	会場	備考
令和4年 5月 6日 (金)	四万十市教育研究大会 組織総会 内容：役員選出、研究主題設定、年間計画	中村中学校	
8月 2日 (火)	教科部会 研修会 (家庭分野) 実技実習研修 (技術分野) 実技実習研修 幡多・四万十地区技術・家庭科研究会に参加	中村西中学校	家庭 4名 技術 4名

3. 教科部会での取り組み

四万十市において、技術家庭科は免許外での教科担当が多く、専科での担当が技術3名、家庭科1名(臨時)である。そのため、夏季研修を四万十市技術家庭科部会では行うことが難しいので、幡多・四万十地区技術・家庭科研究会に参加する形で行った。夏休み中の一日研修だったので、部会以外の免許外対等の教員も参加することが出来た。

3-1 技術部会

<実施内容>

○木材加工のものづくりの授業の進め方(実技)

- ・現指導要領に沿う形での授業構成の実技実践。構想図の作り方、モデルの制作、木材加工を行った。専科以外の教員には、具体的な資料、評価内容、実技がありこれからの授業に生かされる内容であった。

○統合的な課題の研究(木材、エネルギー変換、育成)

- ・これからの実践に必要な統合的な課題の実技研修。ペットボトルでの植物育成とLEDテープライトを使った育成用ライトの制作。現在、授業の中では十分に扱えていない内容の研修で、これから郡研究会を中心に研修を進め取り組んでいきたい内容だったので、すぐに実践に移すことは難しいが、これからの授業に参考になる内容であった。



<感想>

- ・専科教員が指導にあたり、実際の実技研修が行え、これからの授業に生かすことが出来る内容でよかった。
- ・統合的な課題も参考になり、これからの授業の中に生かしていきたい。

3-2 家庭分野

<実施内容>

○教科書に載っている内容の調理実習

- ・煮込みハンバーグ、切り身魚のトマト煮込み、蒸し野菜のサラダ等全6種類の料理を班ごとに手分けして作った。6名の専科教員と4名の免許外の教員が参加しており、専科教員に教えてもらいながら行った。何度も繰り返し行うことでより良い方法を身に付けることができた。

○生活を豊かにするリユース作品の製作

- ・各自が持参した古着やカーテン等をリメイクして作品をつくった。また、持参物以外にもペットボトルや牛乳パックなどの廃材や、はぎれやテープ等用意してくれた材料を使った作品づくりも行えた。

○ICTを使った授業の進め方の指導

- ・家庭科の授業にあたり、クラスルームを活用した実践例を教えてくれた。ポートフォリオを作成し、毎時間のめあて、まとめ、振り返りの記入に活用するなど、具体的な活用例を教えてもらい、2学期にでも実践できる知識が身についた。



<感想>

- ・他校の家庭科がどのように学習を進めているのかが分かったので参考にしたい。
- ・調理実習をしたことがないので今回の研修で進め方が分かり気が楽になった。
- ・専科の先生の作品作りを見たり、ミシンの使い方や仕上がりが見える方法を細かく教えてもらったり、とても勉強になった。

4. 今年度の成果と課題

四万十市において、技術家庭科は免許外での教科担当が多い中、郡研究会に参加が出来たことは、授業づくりをしていく上で、大変勉強になった。特に、昨年度からの課題であった実技研修が出来たことは、免許外で持たれる教員にとっては授業構成、実習での構成、実技指導等たくさんの得る事が出来た研修会になった。また、夏休み中という事で、部会に所属していない免許外の担当教員も参加することが出来たのも四万十市の教科部会としては良かった。

来年度以降も、継続的に郡研究会に夏季研修会を兼ねて、参加できるようになれば免許外で持たれている教員の困り感の解消や、授業力の向上につながるように感じた。